

(様式3)

事業所名 やすらぎホーム希望の家

目標達成計画

作成日: 平成 26年 3月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	利用者の買物や帰宅等の訴えは、常に受け止めるようにしていますが、時に職員の都合に合わせてしまう事があり、利用者本位ではなく、業務優先になりがちである。	利用者本人からの訴え時は、迅速に対応できるようにする。どうしてもすぐに対応出来ない場合は、きちんと説明し、いつ出来るかを明確に説明する。	常に利用者の意向を確認出来る様に、職員からのアプローチを多くする。以前からの訴え等の確認を行い、時期的なものには前以て、早目に確認し予定を組むようにする。	12ヶ月
2	50	利用者の高齢化が進み、徐々に金銭的感覚が衰えて来ている為、本人より支払い等を職員に依頼する利用者が多くなった。きた。	移動売店やデパート・スーパー等、単独での買物の際は、利用者自ら支払いが出来る様にする。また、少額でも自己管理が出来る様になる。	家内での移動売店から、徐々に慣れてもらうように、利用者本人にお金を持たせて支払いを行わせてみる。外出の際も、財布を持って貰い、自ら支払えるように支援する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。